

古文「絶対敬語」 識別 100題ドリル

対象：高校生・大学受験生 | 著作権：誰でも古典塾 (kotennosensei.com) 無断転載禁止

はじめに

絶対敬語とは、使う相手が固定された敬語です。代表は「奏す」と「啓す」。これが出てきた瞬間に、申し上げる相手（天皇か、中宮・東宮か）が文脈なしで確定します。さらに「奏す」には「演奏する」という別の意味もあり、ここがひっかけになります。

傍線部を次の4タイプ（ア～エ）に分類しましょう。

記号	語・意味	申し上げる相手
ア	奏す（絶対敬語＝申し上げる）	必ず天皇（広く上皇・法皇）
イ	啓す（絶対敬語＝申し上げる）	必ず皇后・中宮・東宮・皇太后
ウ	相対敬語（申す・聞こゆ・奉る 等）	文脈で決まる（語だけでは決まらない）
エ	奏す（＝楽器を演奏する）	敬語ではない一般動詞

鉄則 - 「奏す」を見たら、まず目的語を見る。言葉・事を「奏す」＝申し上げる（ア／相手は天皇）。楽・琴・笛を「奏す」＝演奏する（エ）。 - 「啓す」は相手が中宮・東宮など（イ）。天皇には使わない。 - 「申す・聞こゆ」は相対敬語（ウ）。たとえ相手が天皇でも、相手を決めるのは語ではなく文脈。

🎯 解き方のコツ

- 奏す＋言葉/事 → ア（相手＝天皇）。奏す＋楽器 → エ（演奏）。
- 啓す → イ（相手＝皇后・中宮・東宮・皇太后）。
- 申す・聞こゆ・奉る → ウ（相対敬語）。相手は「～に」の部分など文脈で判断。
- 注意：「奏す・啓す」は謙讓語。主語は「申し上げる人（臣下）」で、天皇・中宮は相手（客体）。

採点表

部	問題	目標
第1部 基礎	Q1～Q20	18／20
第2部 標準	Q21～Q50	24／30
第3部 応用	Q51～Q80	22／30
第4部 入試	Q81～Q100	14／20

【第1部】基礎（Q1～Q20）

Q1. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

> 大臣、帝に事の由を奏す。

Q2. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

> 大納言、中宮に祝ひを啓す。

Q3. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

> 家来、主にありさまを申す。

Q4. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

> 楽人、御前にて琴を奏す。

Q5. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

> 蔵人、火急のことを帝に奏す。

Q6. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

▶ 女房、東宮に御文を啓す。

Q7. 次の傍線部「聞こゆ」は、ア～エのどれか。

▶ 女、男に忍びて聞こゆ。

Q8. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 笛をいとめでたく奏す。

Q9. 次の傍線部「奏し」は、ア～エのどれか。

▶ 摂政、帝にことのよしを奏しけり。

Q10. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

▶ 大夫、皇后に賀の言葉を啓す。

Q11. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

▶ 翁、帝に名をば讃岐の造と申す。

Q12. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 御前にて、万歳楽を奏す。

Q13. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 関白、勝ち戦の由を帝に奏す。

Q14. 次の傍線部「啓し」は、ア～エのどれか。

▶ 別当、東宮に事の子細を啓しけり。

Q15. 次の傍線部「奉る」は、ア～エのどれか。

▶ 姫、宮に御文を奉る。

Q16. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 名手、和琴（わごん）をやほらかに奏す。

Q17. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 大臣、世の有様を帝に奏す。

Q18. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

▶ 女房、皇太后に御消息を啓す。

Q19. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

▶ 中納言、大将にうやうやしく申す。

Q20. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 神楽（かぐら）を夜もすがら**奏す**。

【第2部】標準（Q21～Q50）

解答：

Q21. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 大納言、おそろおそろ帝に**奏す**。

Q22. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

▶ 蔵人、中宮に帝の仰せを**啓す**。

Q23. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

▶ 大臣、帝に申すやう、「しかしかのこと」と。

Q24. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 御遊びに、上達部、笛を**奏す**。

Q25. 次の傍線部「奏し」は、ア～エのどれか。

▶ 右大臣、内裏に参りて、帝に**奏し給ふ**。

Q26. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

▶ 女房、春宮（とうぐう）に夜の御殿のことを**啓す**。

Q27. 次の傍線部「聞こゆ」は、ア～エのどれか。

▶ 乳母、姫君に泣く泣く**聞こゆ**。

Q28. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 御前にて、舞楽を**奏す**。

Q29. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 大臣、ひそかに上皇に**奏す**。

Q30. 次の傍線部「啓し」は、ア～エのどれか。

▶ 大納言、中宮に御賀のことを**啓し奉る**。

Q31. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

▶ 老いたる女房、若き姫に昔語りを**申す**。

Q32. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 名うての楽人、箏篳（ひちりき）を**奏す**。

Q33. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 大臣、雨の少なきことを帝に**奏す**。

Q34. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

▶ 女別当、皇后に御産のことを啓す。

Q35. 次の傍線部「奉る」は、ア～エのどれか。

▶ 国の司、帝に貢ぎ物を奉る。

Q36. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 夜もすがら、御前にて箏（さう）の琴を奏す。

Q37. 次の傍線部「奏し」は、ア～エのどれか。

▶ 摂政、よろづの政を帝に奏し行ふ。

Q38. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

▶ 蔵人の頭、東宮に火急の由を啓す。

Q39. 次の傍線部「申し」は、ア～エのどれか。

▶ 翁、かぐや姫に泣く泣く申しけり。

Q40. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 御賀の日、楽人ども、こぞりて楽を奏す。

Q41. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 内大臣、帝に辞表の由を奏す。

Q42. 次の傍線部「啓し」は、ア～エのどれか。

▶ 女房、中宮に御文の返りを啓しけり。

Q43. 次の傍線部「聞こえ」は、ア～エのどれか。

▶ 大臣、帝に御消息を聞こえ給ふ。

Q44. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 御前にて、和琴と笛とを合はせて奏す。

Q45. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 大臣、天変のことを帝に奏す。

Q46. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

▶ 別当、皇太后に御賀の次第を啓す。

Q47. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

▶ 武士、大將軍に軍の様子を申す。

Q48. 次の傍線部「奏で」は、ア～エのどれか。

▶ 上手、琵琶をかき鳴らして**奏**でけり。

Q49. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 関白、御元服のことを帝に**奏**す。

Q50. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

▶ 女房、中宮に御湯殿の用意を**啓**す。

【第3部】 応用 (Q51～Q80)

解答：

Q51. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

▶ 大臣、帝の御前にて、しかじかと**申**す。

Q52. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 陰陽師、日のよきよしを帝に**奏**す。

Q53. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

▶ 大納言、中宮の御前にさぶらひて、事のよしを**啓**す。

Q54. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 月の宴に、御琴を取り出でて**奏**す。

Q55. 次の傍線部「奏し」は、ア～エのどれか。

▶ 大臣、涙ながらに、讓位のことを帝に**奏し**給ふ。

Q56. 次の傍線部「啓し」は、ア～エのどれか。

▶ 命婦、皇后に姫君の御事を**啓し**けり。

Q57. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

▶ 殿上人、関白殿に祝ひの言葉を**申す**。

Q58. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 御遊びの折、笛と箏箏を取りどりに**奏す**。

Q59. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 大臣、世のために、ねむごろに帝に**奏す**。

Q60. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

▶ 女房、東宮に御学問の進みを**啓す**。

Q61. 次の傍線部「聞こゆ」は、ア～エのどれか。

▶ 後の宮、帝に御文を**聞こゆ**。

Q62. 次の傍線部「奏で」は、ア～エのどれか。

▶ 名手、夜もすがら琴を奏でて、人々を泣かす。

Q63. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 大臣、御即位のことを帝に奏す。

Q64. 次の傍線部「啓し」は、ア～エのどれか。

▶ 蔵人、中宮に帝よりの仰せを啓し伝ふ。

Q65. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

▶ 雑色（ぞうしき）、主人に使ひの由を申す。

Q66. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 御前にて、つづみと笛とを打ち合はせて奏す。

Q67. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 大臣、夢のさとしを帝に奏す。

Q68. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

▶ 別当、東宮に御方違へのことを啓す。

Q69. 次の傍線部「奉り」は、ア～エのどれか。

▶ 後の宮に、果物を折敷に据ゑて奉りけり。

Q70. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 御賀の試楽に、若君、和琴を奏す。

Q71. 次の傍線部「奏し」は、ア～エのどれか。

▶ 大臣、日ごろの政のことを帝に奏しけり。

Q72. 次の傍線部「啓し」は、ア～エのどれか。

▶ 典侍（ないしのすけ）、皇后に御けしきを啓し奉る。

Q73. 次の傍線部「申し」は、ア～エのどれか。

▶ 大納言、帝に御礼を申し給ふ。

Q74. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 楽所（がくそ）の人々、競ひて笙（しやう）を奏す。

Q75. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 大臣、世継ぎのことを法皇に奏す。

Q76. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

▶ 女房、中宮に御方々の参りたるよしを啓す。

Q77. 次の傍線部「聞こえ」は、ア～エのどれか。

▶ 姫君、母上に心のうちを聞こえ給ふ。

Q78. 次の傍線部「奏で」は、ア～エのどれか。

▶ 上手の女房、箏を心に入れて奏でけり。

Q79. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 大臣、御幸（みゆき）のことを帝に奏す。

Q80. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

▶ 大夫、東宮に御元服の日取りを啓す。

【第4部】入試（Q81～Q100）

解答：

Q81. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 大臣、御前に進み出でて、世のまつりごとのことを帝に奏す。

Q82. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

▶ 女房、御簾のうちに参りて、中宮に姫君の御事を啓す。

Q83. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

▶ 大納言、帝の御前にかしこまりて、ことのよしを**申す**。

Q84. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 御遊びはなやかにて、上達部、笛・箏箏を取りどりに**奏す**。

Q85. 次の傍線部「奏し」は、ア～エのどれか。

▶ 摂政殿、御簾の外にて、火急の事を帝に**奏し**給ふ。

Q86. 次の傍線部「啓し」は、ア～エのどれか。

▶ 命婦、御帳のもとに寄りて、皇太后に御けしきを**啓し**けり。

Q87. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 月のあかき夜、帝の御前にて、名手、和琴を**奏す**。

Q88. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

▶ 大納言、東宮の御方に参りて、御学問始めのことを**啓す**。

Q89. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 大臣、よろづのことをまとめて、ことごとく帝に**奏す**。

Q90. 次の傍線部「申し」は、ア～エのどれか。

▶ 受領、国の守に年貢のことを申しけり。

Q91. 次の傍線部「奏で」は、ア～エのどれか。

▶ 御賀の宴に、若君、笙の笛をめでたく奏で給ふ。

Q92. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 大臣、皇子御誕生のよろこびを帝に奏す。

Q93. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

▶ 女別当、中宮に御湯殿の儀のことを啓す。

Q94. 次の傍線部「聞こゆ」は、ア～エのどれか。

▶ 大臣、帝にひそかに御消息を聞こゆ。

Q95. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

▶ 御前の遊びに、琴・笛・箏、声を合はせて奏す。

Q96. 次の傍線部「奏し」は、ア～エのどれか。

▶ 関白、よき日を選びて、御即位のことを帝に奏しけり。

Q97. 次の傍線部「啓し」は、ア～エのどれか。

> 蔵人、御使ひとして、東宮に帝の御言葉を啓し奉る。

Q98. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

> 侍、館（やかた）の主に、夜討ちの企てを申す。

Q99. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

> 大臣、御物の怪のしづまりたるよしを帝に奏す。

Q100. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

> 大納言、御簾のうちの中宮に、御賀の日の定まりたるよしを啓す。

採点・振り返り

部	点数
第1部 基礎 (Q1～Q20)	／20
第2部 標準 (Q21～Q50)	／30
第3部 応用 (Q51～Q80)	／30
第4部 入試 (Q81～Q100)	／20
合計	／100

復習のポイント - 奏す (ア) = 天皇へ / 啓す (イ) = 皇后・中宮・東宮・皇太后へ。絶対敬語は、語が出た瞬間に相手が決まる。 - 奏す + 楽器 = 「演奏する」 (エ)。目的語が「言葉・事」か「楽・琴・笛」かで見分ける。「奏づ」も演奏。 - 申す・聞こゆ・奉る (ウ) は相対敬語。たとえ相手が天皇でも、相手を決めるのは語ではなく文脈。「帝に申す」は相対敬語のまま。 - 奏す・啓すは謙讓語。主語は申し上げる臣下、天皇・中宮は相手 (客体)。主語ととりちがえない。

解答：

